



②蒸留釜に枝葉を入れ、火にかける



①粉碎機で枝葉を細かくする



③抽出を待つ間、アロマセラピーの話を聞く



⑥薄く黄色みがかった部分がエッセンシャルオイル



④これが抽出を行う装置

さんぽく会館へ移動し、いよいよエッセンシャルオイル作りです。

今回は、富樫勲十さんのお知り合いで、村上市飯野にお店を構えるアロマセラピーインストラクターの富樫万理さんにご指導いただきました。

まず、大量の枝葉を粉碎機で細かくします。次に、その枝葉を水が入った蒸留釜に入れ、火にかけます。そうすることにより、枝葉の中の油成分が水蒸気と一緒に気化します。それが冷やされることで油成分と水の2層に分かれた液体ができあがります。最後に油成分だけを取り出せば、100%天然由来のエッセンシャルオイルの完成です。ほとんどのエッセンシャルオイルが、この水蒸気蒸留法という方法で抽出されるそうです。

抽出を待つ間、富樫さんからアロマセラピーの話を聞いたり、色んなエッセンシャルオイルから、自分好みの香りにブレンドする体験をさせていただきました。

今回の生業体験は、山北の昔からの主要産業である林業と、エッセンシャルオイル作りという新しい体験が合わさり、男女問わず楽しめる体験となりました。

参加者も、新たな山北の魅力を発見できた様子でした。

さらに活動の充実を！

今回の体験は、地域の人からの提案により実現したものでした。また、百姓やってみ隊参加者と地域の人が深く関わることができた貴重な機会となりました。

このような関わりが、関係人口にとっての大切なステップになると思います。

地域の皆さんからも積極的な関わりを持っていただけたら、さらに充実した活動になりますので、皆さんからのご提案など、ぜひ、よろしくお願ひします！





③切れ込みの反対側からも切っていく



①切れ込みを入れる場所に印をつける



②このような切れ込みを入れる



⑤伐採した木から枝葉を採取



④ある程度まで切ると、木が倒れる

林業体験 → エッセンシャルオイル作り

林業体験をする機会がなかったので、新鮮でとてもおもしろかったです。また、地元の方と一緒に作業ができて満足しています。



参加者の増井和之さん（加茂市）

伐採した木は木材用として使われますが、枝葉が不要となるため切り落とします。その枝葉がエッセンシャルオイルの材料となるので、無駄なく使うことができます。

まず、伐採の仕方を指導いただきます。大切なのは、周りの状況を確認し、木をどこに倒せばよいかしっかりと見定めること。倒す場所が決まったら、切れ込みを入れる場所に印をつけます。あとは、印の場所に切れ込みを入れれば、自然と木が倒れていきます。

今年度の活動の中から特に紹介したいのが、林業&エッセンシャルオイル作りの生業体験です。この体験は、上大鳥集落の富樫勘十さんからの提案で実現したもので、百姓やってみ隊の活動を知った富樫さんが自ら企画してくださいました。

8月5日（日）、富樫さんが間伐の仕事をしている山へ入らせていただきます、いざ体験スタート！